

# 水をきれいにする生き物たち(微生物)



①ボルティセラ(Vorticella)  
別名:ツリガネムシ  
頂部の繊毛(せんもう)で水流を起こしながら、遊泳する細菌類を捕食する。



②エピスティリス(Epistylis)  
ボルティセラとよく似ており、群体をなす。柄に糸状の筋はみられない。



③オペルクラリア(Opercularia)  
ボルティセラ、エピスティリスに類似している。柄は分岐し群体を作る。柄に糸状の筋がある。



④トコフリア(Tokophrya)  
先端の2か所または4か所から吸管をだし、近づいてきた原生動物を吸管で捉えて体液を吸収する。



⑤アキネタ(Acineta)  
トコフリアとよく似ており、太くて短い柄を出しフロックに付着している。



⑥アスピディスカ(Aspidisca)  
別名:メンガタミズケムシ  
フロックの周りをテクテクと動き回っている。



⑦プロロドン(Prorodon)  
別名:タマミズケムシ  
体全体に生えた繊毛(せんもう)を使いくると回転しながら遊泳する。



⑧リトノータス(Litonotus)  
前後に滑るように移動する。口がある細長いほうを前にして遊泳する。



⑨アンフィレプタス(Amphileptus)  
リトノータスに似ているが、やや大型でゆっくり動く。



⑩ペラネマ(Peranema)  
二つの鞭毛(べんもう)があり、直進時は鞭毛(べんもう)を前方に伸ばして滑るように移動する。方向転換時は体を丸めて静止する。



⑪アルセラ(Arcella)  
別名:ナベカムリ  
殻は円筒形。若い細胞は透明に近く、老化するにつれ濃褐色を示す。



⑫ユープロテス(Euplotes)  
フロックの周りを動き回っている。アスピディスカより大型で、足の数も多い。



⑬アメーバ(Amoeba)  
体は扁平で一定の形を持たず、仮足を出して形を変えながら移動する。



⑭ブレファリズマ(Blepharisma)  
下水処理場でみられる微生物の中で、珍しく色のある微生物でピンク色をしている。あまり形を変えずにゆっくりと遊泳する。



⑮スピロストムム(Spirostomum)  
別名:ネジレクテミズケムシ  
大型で細長い形をしていて、水中を滑るように移動する。



⑯カエトノツス(Chaetonotus)  
別名:イタチムシ  
体全体に繊毛(せんもう)が生じていて、尾部は二股に分かれる。移動は速い。



⑰ロタリア(Rotaria)  
別名:ヒルガタムシ  
ヒルのように伸び縮みしながら移動する。頭部の繊毛(せんもう)を動かして、小型の細菌類を捕食する。



⑱レパデラ(Lepadella)  
別名:ウサギムシ  
尾部が二つに分かれており、ウサギの耳のように見える。水中をすばやく遊泳する。



⑲ネマトーダ(Nematoda)  
体をくねくねさせながらフロックの中に潜り込んで、細菌を捕食する。



⑳ズーグレア(Zoogloea)  
樹状、雲状のコロニーを形成する。凝集性のある分泌物をだし、活性汚泥法では欠かせない存在。